

市庁舎タワーインフォメーション

ストックホルム市庁舎はスウェーデン人建築家ラグナル・オストベリにより設計され、1911年から1923年に建築されました。市庁舎は今も市の政治家や行政機関のオフィスとして使用されると同時に、かの有名なノーベル賞晩餐会の会場としても毎年使用されています。

市庁舎タワーは高さ 106m、合計 365 段の階段が頂上まで続きます。タワー最上部には 9 つの鐘が取り付けられています。最大のもものは 3000 kgにもなります。鐘は毎時鳴り、12 時と 18 時にはメロディも奏でます。そのメロディが奏でられる際には、仕掛け人形がタワー東側のバルコニーに回って出てきます。仕掛け人形は聖ヨーランと竜の伝説を語っています。

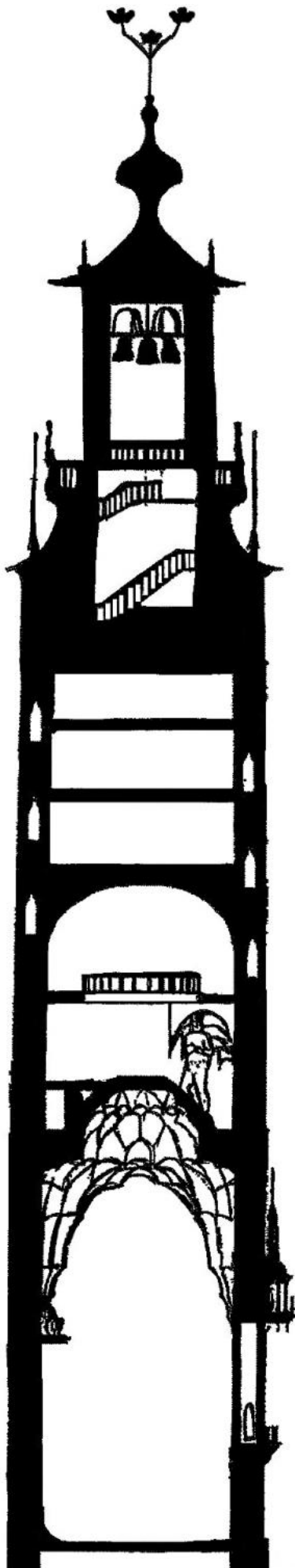
タワーを建築するにあたっては 250 万個のレンガが使用され、その重さは 2 万 4 千 tにも上り、パリのエッフェル塔と比較すると倍の重さとなります。

エレベーターはタワーの中心部にあるタワー美術館まで行きます。そこでは市庁舎の様々な場所にある銅像や彫刻などを見ることができます。タワー美術館より後は細い階段と通路が頂上へと続きます。最後の階段は木造で、途中、鐘を鳴らす機械を通り過ぎます。

木造階段を上ると鉄格子で囲まれた展望台につきます。展望台最上部は安全上の問題で未開放となっています。展望台は海面から 73 mの高さに位置し、ぐるっとストックホルム全体を一望することができます。ここではストックホルムの守護聖人である聖エリックを含む、4つの大きな彫刻を見ることができます。

塔のてっぺんには 3 つの王冠があります。この 3 つの王冠は 1300 年代よりスウェーデンの国章となっています。それら王冠は 1697 年に焼失した旧宮殿が建っていた旧市街の方に向けられています。その宮殿もてっぺんに 3 つの王冠のついた尖塔がありました。市庁舎タワーの王冠は銅製金メッキです。王冠はそれぞれ横 2,2m、高さ 1,1m、重さ 70 kgです。

市庁舎タワーへ ようこそ！



展望台



タワー美術館



タワー入場についてのご案内:

タワーに入場できる時間は決まっています。チケットに書かれた時間のみ有効で、他の時間への変更は不可能です。

火災防護の観点よりタワー入場は一度に30人までとなります。

また滞在時間は最大35分と決められています。

エレベーターはタワー半ばに位置する美術館まで行きますが、その後は階段のみとなります。

紙面裏にはタワーについての情報が書かれています。

素敵な訪問になりますように！

